

ビジティング・リサーチャーが 日本での研究活動を開始しました！

第5期 VRとして研究活動を行っているトゥメンナス・ゲレンク (Tumennast Gelenkhuu) 先生が、コロナ禍で来日が延期となっていました。7月にモンゴルより来日されました。ご本人の希望もあり弊所では「トゥメン先生」と呼びしています。2023年9月まで日本に滞在予定で、同年中の博士論文提出を目指されています。VRとして研究を行いながら、本年度は、淑徳大学大学院総合福祉研究科の研究生としても在籍中です。

トゥメン先生はモンゴル国立大学社会科学部 (School of Social Science, National University of Mongolia)にて教育研究に従事され、モンゴルのソーシャルワーク教育学校連盟のチェアパーソンも歴任していらっしゃいます。研究主題は「コミュニティ・ソーシャルワークにおける異文化適応力:モンゴル遊牧民の事例(Cultural competence in social work with communities: In the case of Mongolian nomadic community)」です。ARIISWが推進してきた仏教ソーシャルワークや国際ソーシャルワークの研究知見を活かしながら、モンゴルにおける遊牧民コミュニティへの調査をもとにソーシャルワークに必要な異文化適応力の研究を進めていらっしゃいます。どうぞよろしくお願いいたします。

トゥメン先生からのメッセージ:

「アジアのソーシャルワーク研究者のネットワークに参加できることを嬉しく思います。アジア国際社会福祉研究所のVRになることにより、アジア諸国の人々の文化、宗教、思想などの文脈を踏まえながらソーシャルワークを研究する機会を得ることができます」



トゥメンナス
・ゲレンク先生

VR 博士号・学位授与式

Kara 39でお知らせしたように、2022年3月に第2期 VR デチェン・ドマ博士(ブータン王立大学)と第4期 VR オマルペ・ソマナンダ師・博士(スリランカ佛教パーリ語大学)へ、淑徳大学大学院総合福祉研究科より博士号(社会福祉学)が授与されました。コロナ禍による影響で3月の学位授与式には参加いただくことができませんでしたが、この度、本年9月にお二人を招聘し学位授与式ならびに祝賀講演会を、十分な感染防止対策を講じながら開催する方向で調整を行っています。鋭意企画中です。ぜひお楽しみにいただけますと幸いです。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。